

草の根活動 交流NEWS ⑤5300人最高の峰へ	第755号 2026年7月8日 会員数158万3382人 読者数 5073人	消費税をなくす全国の会 〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201 電話03-3940-0401 FAX03-3949-9885 Eメール snzk90@horae.dti.ne.jp
--	--	--

最高現勢まであと227人

7月～9月まで読者拡大の「集中期間」を取り組みます。全国の世話人の皆さんに読者拡大の訴えを送り、3人の読者を増やしていただくことをお願いしました。地域で一緒に活動する民主団体の仲間や友人、知人に購読を訴えてください。高市政権は本当に「ヤバい」です。自身の秘書による中傷動画作成疑惑をめぐって事実上答弁を拒否する一方で衆院比例定数だけを45議席削減する法案など悪法をゴリ押しし、消費税問題では2年間に限っての飲食料品1%を強行しようとしています。2年後は大増税が待っています。物価高対策必要なのは一律5%減税です。会報読者を増やしてたたかいの力にしましょう！

「あと50人は増えるよ」

青森市の会

会報「ノー消費税」420号(8月号)1面は「青森市の会」の活動です。3人の女性たちの消費税に対する怒りや「なくす会」の活動への思いなどを伝えています。これまでコツコツと読者を増やし、15年ほど前は50人ほどの読者が現在は116人。倍以上に増やしています。

2026年パンフは450部普及し、100部を追加で注文。10月の全国総会に向けての読者拡大の目標を聞くと「弘前市で購読を訴えろと、50人は増やせるのでは」と力強い返事が返ってきました。拡大の報告を待っています。

「財政厳しいけど、購読するわ」

岐阜県内の地区委員長

岐阜県内の共産党の地区委員会に電話を入れ、購読を訴えました。地区委員長は元議員さん。「議員の時は購読していたけどな。地区委員会の財政が本当に厳しいのよ。節約トイレットできるものは節約している。実はトイレットペーパーも私が持ってきているのよ。購読したいけどな。どうしよう…。議員に読んでもらおうか」と地区委員長があれこれと思いをめぐらせている様子が伝わってきました。

「無理かな」と思っていると「そうや、私個人が購読すればいいな。そしたら誰も文句、言わんやろ。私宛に送って」と寛大なお言葉が。購読、ありがとうございました。

パンフ普及し、読者も拡大

新潟県の読者

「パンフ10部と会報見本誌5部と振込用紙をなくしたので、振込用紙を送ってください」と電話がかかってきました。すぐに送ると数日してからまた電話が。「振込用紙をなくしたと思っていたら2千円をすでに振り込んでいたのよ。それでまた2千円振り込んでしまったの。でもね、友人が『会報を読んでいいよ』と言ってくれたから後から振り込んだ分はその人の購読料に充ててくださいね」と。「10月の総会に向けて会報読者5300人の最高現勢をめざしています。あと4人の拡大を」と訴えろと「頑張ります」と元気に応えてくれました。

2026年パンフ好評です！

「しんぶん赤旗」の広告を見た人からパンフの注文が入ったり、県の会からも「団体訪問をしたらすぐになくなった」など追加の注文が入ったりしています。注文がなかった県の会に電話を入れるとすぐに注文のファクスを入れてくれます。「読めば分かる」と好評です。わずか1カ月半で1万3千部を普及しました。残り1万4千部です。学習・宣伝を広げ、10月の総会までに普及しましょう！